

令和 7 年度

公益財団法人鹿児島市水族館公社 決算書

公益財団法人鹿児島市水族館公社

目 次

令和 7 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告書

1	概要	1
2	事業活動の状況	1
3	会議に関する事項	14
4	役員等に関する事項	15
5	登記事項	16
6	常勤の役員及び職員に関する事項	17

令和 7 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社決算報告書

1	貸借対照表	19
2	貸借対照表内訳表	20
3	正味財産増減計算書	21
4	正味財産増減計算書内訳表	22
5	財務諸表に対する注記	24
6	附属明細書	26
7	財産目録	27

令和7年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告書

1 概要

令和7年度は、かごしま水族館の指定管理者として効率的な管理運営に努めるとともに、開館以来初めての入館料改定及び鹿児島市民料金の導入への対応を行いました。

展示の充実・新たな魅力づくりとして、11代目ユウユウを搬入し、ジンベエザメの展示を継続するとともに、地域の特色魚類であるカツオやキビナゴの周年展示に取り組みました。

学習交流活動及び水族館SDGsの推進については、様々な世代や目的に応じた体験プログラムを企画し実施したほか、タッチプールを「ワクワクかんさつプール」と名称変更し、動物福祉に配慮するとともに教育的効果を高めるために、解説員による指導の下で生きものに触ったり観察したりする体験を提供しました。

情報発信力の強化及び受入態勢の充実については、ゴールデンウィークや夏休み等に合わせて県内の学校等にイベントチラシを配布したほか、SNSを活用した情報発信を積極的に行いました。

戦略的な誘致活動の推進については、テレビCMの放映のほか、県内の幼稚園・保育園等への訪問や関西・関東地区等において教育旅行の誘致セールスを実施しました。また、昨年に引き続き台湾などの海外現地セールスを実施しました。

館内外の魅力づくりについては、ユニークベニュー事業として教育旅行のほか、企業の社員旅行や顧客サービスイベント、結婚式の2次会等の「貸切水族館」を実施しました。また、鹿児島国際大学と共同で体験型謎解きイベントも引き続き開催しました。

ショップの収益力強化については、新規商品の販売や、特別企画展とタイアップした商品販売のほか、ハンズの新宿・梅田・博多でオリジナル商品の販売を行いました。

令和7年度の入館者数は684,101人、入館料収納額は644,748,180円となりました。(P10 別表1)

2 事業活動の状況

(1) 公益事業

鹿児島市との協定に基づき、かごしま水族館の管理運営等を行うとともに、水族の保護及び水族に関する教育文化の振興に寄与するため、自主事業と受託事業を行いました。

1) 自主事業

① 水族館スクールの開催

水族に関する知識の普及や啓発を目的に水族館スクールを実施しました。

	実施日	タイトル	参加人数	合計
第1回	5月25日	体験！一日飼育係	15人	91人
第2回	6月29日	大人のための体験飼育係	16人	
第3回	11月23日	体験！一日飼育係	14人	
第4回	12月14日	大人のための体験飼育係	16人	
第5回	1月25日	体験！一日飼育係	16人	
第6回	2月23日	体験！一日飼育係	14人	

② ニュースレター「さくらじまの海」の発行

展示生物やかごしま水族館のイベント・トピックスなどを紹介する情報誌「さくらじまの海」を4回発行し、学校・団体等に配布しました。

③ かごしま水族館ボランティアの運営

令和7年度は館内外のイベントへの協力に加え、ボランティアの自主活動制度としてボランティア同士の交流を目的としたSNSを運営する「かすいボラ広場」や標本を使いながら来館者に解説を行う「標本ワンダークラブ」、ボランティアが主体となってイベントを実施する「かごしま水族館ボランティアによる春のいお祭り」などを実施しました。

また、28期となる新規ボランティアの募集を行いました。

ボランティア（平成10年から）	人 数
第1期生～第27期生（令和8年3月末現在）	102人

④ 水族の保護及び保存に関する調査研究活動

ア．鯨類調査

錦江湾及び東シナ海における鯨類目視調査を計12回実施しました。県内海域における鯨類漂着や混獲等ストランディング調査を5回実施しました。

調査エリア別鯨類発見群頭数

調査日	発見	場所/方法
4月8日	なし	湾央から湾奥/車両
5月12日	ミナミハンドウイルカ1群2頭	湾央から湾奥/船舶
6月3日	なし	湾央から湾奥/車両
7月1日	ミナミハンドウイルカ2群32頭	湾全域/船舶
9月2日	ハシナガイルカ1群5頭	野間池沖/船舶
9月3日	ミナミハンドウイルカ1群20頭	湾央/船舶
10月7日	なし	湾広域・薩摩半島南岸/車両
11月4日	なし	湾央から湾奥/船舶
12月9日	ミナミハンドウイルカ1群30頭 ゴマフアザラシ1頭	湾広域/車両
1月27日	ミナミハンドウイルカ1群25頭	湾全域/船舶
2月3日	なし	湾奥部・八代海南部/車両
3月3日	ミナミハンドウイルカ1群20頭	湾央から湾奥/車両

2) 受託事業

① 敷地、建築物及び附属設備等の維持管理

建物等の清掃、警備及び維持管理、諸設備の運転管理や保守を行うとともに、発電設備の整備、取水ポンプの更新、冷凍機や冷却塔の改修等を行いました。また、鹿児島市の「公共建築物ストックマネジメント事業」に基づき、計画的な建築物等の維持保全に努めるとともに、鹿児島市認定の環境管理事業所として引き続きエネルギーの消費削減に努めました。

② 水族の収集、飼育及び展示

ア. 黒潮大水槽の展示

7月18日に南さつま市笠沙町の定置網でジンベエザメが捕獲され、8月18日に歴代最長の6年間飼育したジンベエザメの10代目ユウユウを黒潮大水槽から搬出し、入替えを行いました。10代目ユウユウは記録計等を装着して放流し、回遊経路等の調査を行う予定でしたが、翌8月19日に搬入した畜養生け簀の中で死亡しているのが発見されました。今後は11代目ユウユウの健全な飼育に努めると共に、10代目の死亡原因を解明し次の入れ替えに向けた準備を行います。

イ. 地域の特色魚類の展示

鹿児島県を代表するキビナゴの展示を行い、開館から初めてとなる周年の継続展示に成功しました。

ウ. イルカ・アザラシの繁殖に向けての取組

イルカの繁殖に関する技術向上のため研究会への参加などの職員研修に取り組みました。

エ. 新規の館内展示水族

主な新規展示水族

展示開始日	生物名	展示開始日	生物名
4月19日	ムギイワシ	12月5日	スリコギモーリー
7月11日	アリアケビゼンクラゲ	3月12日	ベッコウサンショウウオ
7月16日	マメウツボ	3月12日	オオスミサンショウウオ
7月30日	クロアジモドキ	3月12日	リュウキュウアユ
8月2日	バラハナダイ	3月12日	アマミイボイモリ
10月25日	トビハタ	3月17日	ユリウツボ

③ 特別企画展の開催

常設展示とは異なったテーマで様々なアイデアや趣向を凝らし、ポピュラーな話題から専門的なものまで深く掘り下げて情報提供するとともに、リピーターの方々にも楽しんでいただけるように、特別企画展を実施しました。

特別企画展

開催期間	タイトル
3月14日～ 6月8日	のぞいてみよう 海藻の世界
7月18日～ 11月3日	海の宝を釣り上げろ！～鹿児島の釣魚展～
3月13日～ 6月7日	鹿児島の希少生物を守ろう 絶滅の危機に立つ生きものたち

④ 教育普及活動・体験型講座の実施

薩摩伝統の郷中教育の要素を取り入れた体験型連続講座「いおっ子海っ子体験塾」や、学校及び団体向けのプログラム「いおワールド生きもの講座」、職場体験や学芸員等実習の受入れを行いました。

	タイトル	実施回数	参加人数
1	いおっ子海っ子体験塾	5回	93人
2	ワクワクきびなご塾	14回	688人
3	いおワールド生きもの講座	282回	13,557人
4	職場体験学習	34回	87人
5	学芸員等実習	13回	13人
合 計		348回	14,438人

⑤ 水族館SDGsの推進

ア. 4園館連続講座の実施

かごしま環境未来館、平川動物公園及び重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアムと連携してSDGsに関する講座を実施しました。

イ. タッチプールの新しい取組

水産資源の維持継続的な利用や動物福祉に配慮したタッチプールの取組として、生きものが傷つきやすい繁忙期には生きものタッチを中止して、触らないからこそ見られる生きものの様子や生態を伝えるミニ企画展「タッチはお休み 見よう！さがそう！生きもののひみつ」を2回実施しました。また、10月からは展示の名称を「ワクワクかんさつプール」に変更し教育的配慮のもとで生きものを学ぶ「タッチの時間」と生きものを休ませつつ本来の動きをじっくり観察する「かんさつの時間」を設けました。

⑥ 各種イベントの実施

通常の館内イベントのほか、次の特別イベントを実施しました。

	イベント名（回数等）	内 容
1	いおの日（12回）	「タツノオトシゴをつくろう！」など新規2講座を含む全12講座を実施しました。
2	夜の水族館（23回）	GW、夏休みの土、日曜日、祝日とお盆期間に開館時間を21時まで延長しました。
3	黒潮大水槽バックヤード一般公開（10回）	普段見ることができない黒潮大水槽の裏側を公開しました。
4	トワイライトアクアリウム（22回）	水槽照明を変更して、夜の魚たちの様子を観察できるようにするほか、館内のBGMの変更や館外にイルミネーションを設置し、普段とは違う雰囲気演出する「夜の水族館」限定のイベントを行いました。
5	星に願いを！ ～水族館で七夕飾り～	7月1日～8月7日の期間で来館者に短冊に願い事を書いていただきました。それをもとに、11月に願い事を叶えるイベントを行いました。
6	フォトコンテスト	水族館の生きものを対象にしたフォトコンテストを実施しました。応募数423作品 優秀作品31作品 展示期間12月7日～2月1日
7	ジンベエザメの食事をまちかで見よう（21回）	黒潮大水槽のバックヤードからジンベエザメの食事の様子を飼育員が解説するイベントを行いました。
8	水族館で凧を作ろう！	1月5日に水族館の生きものを描いてオリジナルの凧を作るイベントを行いました。

	イベント名（回数等）	内 容
9	アクアリウム night ヨガ（3回）、 朝ヨガ（2回） 朝ピラティス（1回）	リビングかごしま及び鹿児島市スポーツ振興協会と共同で、黒潮大水槽の前にてヨガイベントを行いました。
10	紙粘土でつくろう（2回）	紙粘土でジンベエザメやイルカなど海の生きものを作るイベントを行いました。
11	イルカに合図をだしてみよう！ &イルカと記念撮影（5回）	イルカに合図を出す体験と、記念撮影が楽しめるイベントを実施しました。
12	イルカ館スペシャルバックヤードツアー	普段は見ることのできないイルカプール・アザラシ水槽のバックヤードを飼育員が案内するイベントを実施しました。
13	いぶたま水族館	J R九州観光列車「特急指宿のたまて箱」とコラボイベントを行いました。鹿児島中央駅構内に9月17日から10月14日までの期間サカサクラゲ水槽を設置して水族館のPRを行いました。また、2月19日に、JAL、JR、当館の三者でコラボしたツアーを行い、列車内で錦江湾の生きものについて解説した後、水族館にて水路のイルカやマンボウ等の解説とバックヤードツアーを実施しました。
14	特別企画展開関連イベント	特別企画展開催に合わせて、特別イベントを行いました。 「エギをつくろう！」（8月18日）
15	ミニコンサート（5回）	黒潮大水槽の前でハンドベルやコントラバス、琴などのミニコンサートを開催しました。
16	イラストレーターと絵はがきづくり	イラストレーターのさくらぎみなも氏と共同で絵はがきを作るワークショップを行いました。
17	潜水艇「はくよう」のなかに入っちゃおう！	錦江湾でも活躍し、2024年に「ふね遺産」に認定された有人潜水艇「はくよう」の中に入るイベントを行いました。
18	謎解きイベント「青色の手紙～約束の場所は水族館～」	鹿児島国際大学と共同で暗号やパズルを解きながら館内を巡る体験型謎解きイベントを2月8日と22日に実施しました。
19	イルカ水路の魚たちにエサをあげてみよう！（3回）	イルカ水路のブリやマダイにエサをあげるイベントを行いました。
20	サメを観察してみよう！	サメを観察し、スケッチをするなどしてサメの多様性を学ぶイベントを行いました。
21	水の生きもののジェルキャンドルをつくろう	カラーサンドと水の生きもののガラス細工でジェルキャンドルを作るワークショップを行いました。
22	イルカ水路イルミネーション（6回）	お盆とクリスマスに合わせてイルカ水路に大きなボール型のイルミネーションを浮かべ、ライトアップしました。
23	スペシャルバックヤードツアー（23回）	普段見ることのできない本館1～4階のバックヤードを、案内する飼育員によってコースが変わる特別なツアーで案内しました。
24	飼育の日イベント	飼育の日（4月19日）に合わせて、特別イベントを行いました。 ・水族館スタッフになりきっちゃおう！ ・ジンベエザメの食事をまぢかで見よう！

	イベント名（回数等）	内 容
25	国際ジンベエザメの日イベント	国際ジンベエザメの日イベント国際ジンベエザメの日（8月30日）に合わせて、下記の特別イベントを行いました。 ・ジンベエぼうしをつくろう！ ・ジンベエザメの食事の時間追加開催
26	イルカに合図をだしてみよう！（3回）	イルカ館でモニターを使った抽選のドキドキ感と、イルカに合図を出す体験が楽しめるイベントを実施しました。

※網かけは令和7年度初実施のイベント

⑦ 広報宣伝・入館者誘致事業

テレビCMの放映及び旅行代理店・学校の訪問誘致活動を実施しました。その他、報道機関への情報提供に努めました。

ア．テレビCM等の制作・放送

夏休みの観客誘致のために、15秒のテレビCMを制作し、県内及び熊本・宮崎県で放映しました。

時期	地 域	放送期間	本数
夏休み	鹿児島・宮崎・熊本県	7月1日～8月11日	561本

イ．報道機関への情報提供

新たな展示水族等に関する「いおワールド情報」を報道機関へ提供し、新聞記事として掲載されたほか、テレビ等で報道されました。

ウ．SNSを活用した取組

公式SNSで生きものやイベントの情報発信を626回行いました。また、県内で活躍するインフルエンサー2名をアンバサダーに任命し、Instagramによる情報発信を行ってもらいました。

エ．旅行代理店への誘致活動等

入館者増を図るため、旅行代理店や学校並びに幼稚園・保育園等を訪問し、誘致活動を行いました。

地域	訪問先	訪問件数	合計
関東地区	旅行代理店	1件	410件
中国地区	学校・旅行代理店	8件	
関西地区	学校・旅行代理店	42件	
県内離島	学校・旅行代理店	80件	
県内	幼稚園・保育園	279件	

また、県内及び台湾や香港でのインバウンド商談会への参加や、代理店訪問を行い、海外観光客の誘客に努めました。

オ. 貸切水族館

下記団体に、営業時間外の水族館を貸し切りでご利用いただきました。

内容	件数	合計
学校・保護者会等	4 件	4 1 団体
企業利用（社員旅行・顧客サービス・イベント）	1 7 件	
結婚式・2 次会	3 件	
共催イベント	9 件	
海外旅行代理店ツアー	8 件	

⑧ 職員等の採用

アクアキャスト（嘱託員）

採用日	職種	採用人数
4 月 1 日	券売・案内・アミューズメント ショップでの販売・展示解説	4 人
1 0 月 1 日	券売・案内・アミューズメント ショップでの販売・展示解説	1 人

(2) 収益事業

入館者の利便性の向上を図るとともに、自主事業や広報宣伝事業の財源を確保するためにアミューズメントショップの運営などの付帯事業を実施しました。

① アミューズメントショップ等

水族館に関連する菓子やぬいぐるみ、文具雑貨等の商品を販売するアミューズメントショップの運営を行いました。ハンズ新宿店・梅田店・博多店でオリジナル商品の販売を期間限定で行ったほか、鹿児島市魚類市場で開催された「お魚ファン感謝デー」や鹿児島ユナイテッドF C等の外部イベントに出店しました。また、鹿児島レブナイズとコラボ商品の開発・相互販売を行いました。

令和7年度売上額

アミューズメントショップ 2 8 6 , 9 7 6 , 9 7 9 円（P 1 2 別表3）

② 自動販売機

入館者へのサービスに供するため自動販売機10台（展望ホール5台、イルカ館2台、屋外3台）の運営を行いました。

令和7年度販売手数料額 8 , 3 7 6 , 8 7 8 円（P 1 2 別表3）

(3) 法人の運営体制の充実を図るための取組

当社は、公益財団法人としての社会的信頼を確保し、公益目的事業を適正かつ効果的に遂行するため、法令順守及びガバナンスの強化を重要な運営課題と位置付け、次のとおり法人運営体制の充実に向けた取組を行っています。

① 公益法人内部における規範の整備及び運用

当社は、定款を基本規範とし、これに基づき次のような諸規程等を整備し、役員及び評議員、事務局職員が遵守すべき規範の明確化を行い、運用しています。

- ・職員就業規則、処務規則、財務会計規則
- ・職員給与規程、役員及び評議員の報酬及び費用に関する規程、職員退職手当支給規程
- ・嘱託員取扱要綱、臨時職員取扱要綱、情報公開要綱
- ・職員採用試験委員会設置要綱、嘱託員採用試験委員会設置要綱 等

② 公益法人の機関別における具体的取組

ア. 評議員会の体制・運営

当公社の評議員は、10人以上15人以内の評議員により構成され、大学、民間企業、地方公共団体、観光団体といった多様な分野・専門性を反映した構成としています。

定時評議員会及び臨時評議員会を年2回以上開催し、事業計画・予算、事業報告・決算、職務遂行状況等について報告・審議を行い、業務執行の適正性と透明性を確保しています。

イ. 理事会の体制・運営

当公社の理事会は、10人以上15人以内の理事により構成され、大学、民間企業、地方公共団体、観光団体といった多様な分野・専門性を反映した構成としています。

通常理事会及び臨時理事会を年2回以上開催し、事業計画・予算、事業報告・決算、職務遂行状況等について報告・審議を行い、業務執行の適正性と透明性を確保しています。

ウ. 監事による監査体制

当公社は、公認会計士である外部監事1名及び鹿児島市会計管理者である監事1名を選任しており、理事会への出席、業務及び会計の監査を通じて、理事の職務執行を監督しています。

また、監事はいつでも理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることが可能としています。

③ 不祥事の予防・発見・事後対応の仕組み

当公社は、不祥事の未然防止及び早期発見、適切な事後対応を図るため、以下の取組を行っています。

ア. 会計処理における牽制体制

予算執行・支払い手続きにおいては、複数人による確認を基本とし、事務局内での相互牽制を確保しています。

イ. 個人情報及び機密情報の管理

入館者等の個人情報については、事務局において適切な管理を行うとともに、個人情報の取扱いについて必要に応じて文書等で周知を行っています。

ウ. 事後対応の明確化

不祥事が発生した場合には、理事会への報告、必要に応じて調査、再発防止策の検討・周知を行い、組織全体の信頼回復と改善に取り組むこととしています。

④ 社会的課題の解決に向けた事業効果の測定と活用

当社は水族館の運営を通じて、地球環境問題や水産資源の減少、動物福祉といった社会的課題の解決を目的として事業を実施しています。

具体的には、

- ・SDGsに関する講座や、水産資源の維持と継続的な利用や動物福祉に配慮した展示を行う「水族館SDGs」の推進
- ・定期的に会議を開催し、他施設への研修視察旅行などをおして誰もが見やすい館内表示や環境負荷の少ない展示方法を検討する「SDGsワーキンググループ」の設置

等を通じて、入館者への知識の普及や職員への啓発及び意識の向上に寄与しています。

これらの事業については、参加者アンケートで定性的評価を行うとともに、研修実施回数・受講者数等の定量的指標を把握することで、その結果を次年度以降の事業計画や研修内容の改善に活用しています。

(別表 1)

入館者の種別と入館料収納額

種 別			入館者数（人）	構成比（％）	入館料収納額（円）
有料入館者	個人	大 人	260,022	38.0%	434,513,300
		小 人	54,726	8.0%	43,605,685
		幼 児	14,960	2.2%	5,206,040
		敬 老	3,726	0.5%	2,856,250
		観 光	50,512	7.4%	63,984,600
		小 計	(383,946)	(56.1%)	(550,165,875)
	団体	大 人	18,410	2.7%	25,114,000
		小 人	19,521	2.9%	13,719,400
		幼 児	1,058	0.1%	296,240
		小 計	(38,989)	(5.7%)	(39,129,640)
	市内学校教育等	大 人	94	0.1%	71,000
		小 人	3,638	0.5%	1,364,250
		幼 児	2,165	0.3%	378,875
		小 計	(5,897)	(0.9%)	(1,814,125)
	年間パスポート	大 人	16,408	2.4%	47,047,700
		小 人	4,024	0.6%	5,674,400
		幼 児	1,427	0.2%	916,440
		小 計	(21,859)	(3.2%)	(53,638,540)
	年間2回目以降パスポート	大 人	55,036	8.0%	
		小 人	10,007	1.5%	
幼 児		10,385	1.5%		
小 計		(75,428)	(11.0%)		
有 料 合 計			526,119	76.9%	644,748,180
無料入館者	個人	障害者手帳等	27,471	4.0%	
		3 歳 以 下 等	110,478	16.1%	
		視 察 そ の 他	2,418	0.4%	
		小 計	(140,367)	(20.5%)	
	団体	生 徒 等	7,390	1.1%	
		引 率	10,225	1.5%	
		小 計	(17,615)	(2.6%)	
無 料 合 計			157,982	23.1%	
合 計			684,101	100.0%	
令和6年度			718,532 人		620,738,780
令和6年度比			△ 34,431 人	95.2%	+ 24,009,400
開 館 日 数			361 日	休館日 12月1日から12月4日まで	
1 日 平 均 入 館 者			1,895 人		
1 日 最 多 入 館 者			8,926 人	5月 4日（日）	
1 日 最 小 入 館 者			423 人	12月16日（火）	

(別表2)

月別入館者の状況

(単位：人)

月	開館 日数	有 料						無料計	月計
		大人	小人	幼児	敬老	年間パス (2回目以降)	小計		
4月	30	23,632	5,483	2,019	289	5,728	37,151	8,529	45,680
5月	31	36,133	11,269	2,129	316	6,228	56,075	15,759	71,834
6月	30	22,352	4,506	2,923	210	5,999	35,990	10,882	46,872
7月	31	30,549	8,697	3,565	347	7,358	50,516	13,056	63,572
8月	31	59,449	19,595	6,066	732	10,344	96,186	20,781	116,967
9月	30	29,445	5,685	3,480	316	6,376	45,302	11,161	56,463
10月	31	22,869	6,559		253	5,514	35,195	12,765	47,960
11月	30	21,470	7,778		285	5,347	34,880	12,987	47,867
12月	27	20,901	5,467		189	5,102	31,659	11,185	42,844
1月	31	20,972	4,318		234	6,254	31,778	12,858	44,636
2月	28	20,858	3,162		168	5,015	29,203	12,274	41,477
3月	31	28,472	7,173		387	6,152	42,184	15,745	57,929
計	361	337,102	89,692	20,182	3,726	75,417	526,119	157,982	684,101
構成比		49.3%	13.1%	3.0%	0.5%	11.0%	76.9%	23.1%	100.0%

※ 令和7年10月1日の入館料改定により幼児料金を廃止したため、10月以降は幼児を無料入館者数に含む。

(別表3)

アミューズメントショップ・自動販売機の状況

(1) アミューズメントショップの購買者数・利用率・売上額・客単価

(単位:人、円)

入館者数 (A)	購買者数 (B)	利用率 (B/A)	売上額 (C)	客単価	
				(C/B)	(C/A)
684,101	163,608	23.9%	286,976,979	1,754	419

(2) 自動販売機の購買回数・利用率・手数料額

(単位:人、円)

入館者数 (A)	購買回数 (B)	利用率 (B/A)	手数料額 (C)
684,101	158,168	23.1%	8,376,878

(3) 月別状況

	アミューズメントショップ		自動販売機	
	売上額(円)	構成比	手数料額(円)	構成比
4月	18,671,560	6.5%	494,123	5.9%
5月	31,044,360	10.8%	820,277	9.8%
6月	16,396,449	5.7%	561,183	6.7%
7月	25,953,851	9.0%	942,005	11.3%
8月	53,080,862	18.5%	1,530,560	18.3%
9月	21,223,598	7.4%	813,754	9.7%
10月	20,686,327	7.2%	630,522	7.5%
11月	22,828,685	8.0%	506,136	6.0%
12月	18,475,123	6.4%	317,777	3.8%
1月	17,920,469	6.2%	697,387	8.3%
2月	15,756,670	5.5%	490,660	5.9%
3月	24,939,025	8.7%	572,494	6.8%
計	286,976,979	100.0%	8,376,878	100.0%
令和6年度比	△ 10,379,145	96.5%	△ 576,376	93.6%

来館者アンケート調査結果（概要）

(1) 来館者の地域別状況

(単位：％)

地 域		調 査 日	
		8月2日(土) ～8月8日(金)	1月31日(土) ～2月6日(金)
市 内		28.9	40.5
県 内		17.5	23.0
県 外	福 岡	7.1	3.5
	佐 賀	1.4	0.8
	長 崎	2.0	0.6
	熊 本	7.8	5.4
	大 分	1.7	0.6
	宮 崎	7.5	9.9
	中国地方	2.6	0.6
	関西地方	5.9	2.2
	関東地方	10.5	6.2
	そ の 他	5.4	4.2
	小 計	51.9	34.0
海 外		1.7	2.5
合 計		100.0	100.0

(2) 情報手段

(単位：％)

種 別	調 査 日	
	8月2日(土) ～8月8日(金)	1月31日(土) ～2月6日(金)
テレビ報道等	10.1	11.2
新 聞	1.5	2.1
家 族	24.6	21.6
友人・知人	8.7	9.2
ポスター・チラシ	7.1	3.9
雑 誌	2.1	1.6
ラジオ	0.5	0.2
旅行業者	1.0	0.4
ホームページ	8.7	6.2
S N S	7.7	6.8
年間パスポートを所持	11.8	19.9
特になし（なんとなく）	12.1	14.1
その他	4.1	2.8
合 計	100.0	100.0

※ サンプル数は、

令和7年8月調査 1,875人

令和8年1～2月調査 1,000人

3 会議に関する事項

(1) 理事会

令和7年度の理事会の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

区分	開催日	議決事項等
第1回	令和7年 4月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程一部改正並びに理事、監事及び評議員の選任に係る評議員会招集の件
第2回	令和7年 6月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事及び評議員選任に係る評議員会招集の件
第3回	令和7年 6月 12日	令和6年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告及び収支決算 令和7年度第3回評議員会招集の件
第4回	令和7年 7月 8日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事選任の件に係る評議員会招集の件
第5回	令和7年 9月 25日	公益財団法人鹿児島市水族館公社職員の育児休業等に関する規程一部改正の件に係る評議員会招集の件
第6回	令和8年 2月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事選任の件に係る評議員会招集の件
第7回	令和8年 3月 11日	公益財団法人鹿児島市水族館公社職員就業規則一部改正の件 公益財団法人鹿児島市水族館公社職員給与規程一部改正の件 令和7年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支補正予算 令和8年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画 令和8年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支予算 令和7年度第6回評議員会招集の件

(2) 評議員会

令和7年度の評議員会の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

区分	開催日	議決事項
第1回	令和7年 4月 1日	役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程一部改正並びに理事、監事及び評議員の選任の件
第2回	令和7年 6月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事及び評議員選任の件
第3回	令和7年 6月 27日	令和7年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告及び収支決算
第4回	令和7年 7月 8日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事選任の件
第5回	令和8年 2月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事選任の件
第6回	令和8年 3月 18日	令和7年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支補正予算 令和8年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画 令和8年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支予算

4 役員等に関する事項

(1) 令和8年3月31日現在の役員は次のとおりです。

役職名	氏名
理事長	下 鶴 隆 央
副理事長	中 西 則 文
常務理事	西 山 孝 志
理 事	犬 伏 和 章
理 事	木 脇 良 知
理 事	寺 菌 玲 子
理 事	中 野 寿 康
理 事	西 隆 一 郎
理 事	西 野 友 季 子
理 事	山 元 紀 子
理 事	原之園 哲哉
理 事	堀 之 内 勇
監 事	高 橋 雷 太
監 事	柳 田 ひろみ

(2) 令和8年3月31日現在の評議員は次のとおりです。

役職名	氏 名
会 長	杉 木 和 子
評 議 員	五 反 田 晴 夫
評 議 員	内 菌 博 之
評 議 員	池 田 哲 也
評 議 員	川 添 啓 子
評 議 員	橘 木 宏 幸
評 議 員	宮 浦 和 英
評 議 員	本 村 浩 之
評 議 員	山 本 智 子
評 議 員	渡 千 左 代
評 議 員	鶴 田 紋 太 郎
評 議 員	児 玉 博 史

5 登記事項

令和7年度の登記事項は次のとおりです。

登記年月日	申 請 先	事 項	登記原因年月日
令和7年 5月13日	鹿児島地方法務局	理事、監事及び評議員 の変更	令和7年 4月 1日
令和7年 6月19日	鹿児島地方法務局	理事及び評議員の変更	令和7年 6月 1日
令和7年 8月12日	鹿児島地方法務局	理事の変更	令和7年 7月 8日
令和8年 2月16日	鹿児島地方法務局	理事の変更	令和8年 2月 1日

6 常勤の役員及び職員に関する事項

令和8年3月31日現在の人員は次のとおりです。

常務理事	事務局長	公社職員	嘱託員	臨時職員
1 人	1 人	32 人	22 人	44 人
		事務局参事 1 人	アクアキャスト	事務補助 7 人
		館長 1 人	券売・案内・展示解説 13 人	設備管理補助 2 人
		総務課 6 人	商品販売・管理 9 人	飼育補助員 9 人
		課長 1 人		調餌補助 5 人
		主幹 1 人		展示解説 21 人
		管理係		
		主任 2 人		
		施設係		
		係長（総務課主幹事務取扱）		
		主査 1 人		
		技術職員 1 人		
		企画営業課 3 人		
		課長（事務局参事事務取扱）		
		企画営業係		
		係長 1 人		
		主任 1 人		
		事務職員 1 人		
		展示第一課 15 人		
		課長 1 人		
		主幹 2 人		
		魚類展示係		
		係長（展示課主幹事務取扱）		
		主査 1 人		
		主任 3 人		
		技術職員 5 人		
		学習交流係		
		係長（展示課主幹事務取扱）		
		主任 1 人		
		技術職員 2 人		
		展示第二課 6 人		
		海獣展示係		
		係長 1 人		
		主任 2 人		
		技術職員 3 人		

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（平成１９年法務省令第２８号）第３４条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないため、令和７年度事業報告の附属明細書については作成しておりません。

令和7年度公益財団法人鹿児島市水族館公社決算報告書

1 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	194,638,659	211,801,622	△ 17,162,963
未収金	11,624,163	8,212,624	3,411,539
商品	1,585,762	1,236,793	348,969
貯蔵品	1,800,504	1,816,110	△ 15,606
前払費用	29,036	0	29,036
流動資産合計	209,678,124	223,067,149	△ 13,389,025
2.固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	32,463,777	82,395,900	△ 49,932,123
投資有価証券	167,536,223	117,604,100	49,932,123
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	227,587,423	251,020,438	△ 23,433,015
減価償却引当資産	16,368,511	15,247,534	1,120,977
特定費用準備資産	0	4,725,000	△ 4,725,000
特定資産合計	243,955,934	270,992,972	△ 27,037,038
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	1,511,552	1,817,765	△ 306,213
リース資産	4,573,969	0	4,573,969
ソフトウェア	1,751,151	0	1,751,151
預託金	10,550	10,550	0
その他固定資産合計	7,847,223	1,828,316	6,018,907
固定資産合計	451,803,157	472,821,288	△ 21,018,131
資産合計	661,481,281	695,888,437	△ 34,407,156
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	134,545,586	94,784,748	39,760,838
預り金	7,026,612	6,556,448	470,164
未払法人税等	71,000	71,000	0
流動負債合計	141,643,198	101,412,196	40,231,002
2.固定負債			
退職給付引当金	227,587,423	251,020,438	△ 23,433,015
リース債務	4,641,233	0	4,641,233
固定負債合計	232,228,656	251,020,438	△ 18,791,782
負債合計	373,871,854	352,432,634	21,439,220
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産合計	200,000,000	200,000,000	0
2.一般正味財産			
剰余金	87,609,427	143,455,803	△ 55,846,376
一般正味財産合計	87,609,427	143,455,803	△ 55,846,376
正味財産合計	287,609,427	343,455,803	△ 55,846,376
負債及び正味財産合計	661,481,281	695,888,437	△ 34,407,156

2 貸借対照表内訳表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1.流動資産					
現金	10,187,838	3,954,876	0		14,142,714
普通預金	126,157,233	53,035,549	1,303,163		180,495,945
未収金	2,157,991	9,552,995	0	△ 86,823	11,624,163
商品	0	1,585,762	0		1,585,762
貯蔵品	0	1,800,504	0		1,800,504
前払費用	0	29,036	0		29,036
流動資産合計	138,503,062	69,958,722	1,303,163	△ 86,823	209,678,124
2.固定資産					
(1) 基本財産					
普通預金	32,463,777	0	0		32,463,777
投資有価証券	167,536,223	0	0		167,536,223
基本財産合計	200,000,000	0	0	0	200,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当普通預金	179,489,583	924,840	17,173,000		197,587,423
退職給付引当有価証券	30,000,000	0	0		30,000,000
減価償却引当普通預金	1,598,669	14,769,842	0		16,368,511
特定資産合計	211,088,252	15,694,682	17,173,000	0	243,955,934
(3) その他固定資産					
車両運搬具	1	0	0		1
什器備品	0	1,511,552	0		1,511,552
リース資産	0	4,573,969	0		4,573,969
ソフトウェア	0	1,751,151	0		1,751,151
預託金	10,550	0	0		10,550
その他固定資産合計	10,551	7,836,672	0	0	7,847,223
固定資産合計	411,098,803	23,531,354	17,173,000	0	451,803,157
資産合計	549,601,865	93,490,076	18,476,163	△ 86,823	661,481,281
II 負債の部					
1.流動負債					
未払金	112,717,520	20,611,726	1,303,163	△ 86,823	134,545,586
預り金	7,026,612	0	0		7,026,612
未払法人税等	0	71,000	0		71,000
流動負債合計	119,744,132	20,682,726	1,303,163	△ 86,823	141,643,198
2.固定負債					
退職給付引当金	209,489,583	924,840	17,173,000		227,587,423
リース債務	0	4,641,233	0		4,641,233
固定負債合計	209,489,583	5,566,073	17,173,000	0	232,228,656
負債合計	329,233,715	26,248,799	18,476,163	△ 86,823	373,871,854
III 正味財産の部					
1.指定正味財産					
寄付金	200,000,000	0	0	0	200,000,000
指定正味財産合計	200,000,000	0	0	0	200,000,000
2.一般正味財産					
剰余金	20,368,150	67,241,277	0	0	87,609,427
一般正味財産合計	20,368,150	67,241,277	0	0	87,609,427
正味財産合計	220,368,150	67,241,277	0	0	287,609,427
負債及び正味財産合計	549,601,865	93,490,076	18,476,163	△ 86,823	661,481,281

3 正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	1,378,997	805,493	573,504
特定資産運用収益	307,100	242,700	64,400
受取補助金等	834,038,700	822,447,946	11,590,754
事業収益	298,027,857	312,965,985	△ 14,938,128
雑収益	6,521,780	4,396,078	2,125,702
経常収益計	1,140,274,434	1,140,858,202	△ 583,768
(2) 経常費用			
自主事業費	2,660,898	5,479,081	△ 2,818,183
受託事業費	894,379,068	870,158,229	24,220,839
収益事業費	258,386,750	265,374,022	△ 6,987,272
法人会計	40,623,094	45,278,800	△ 4,655,706
経常費用計	1,196,049,810	1,186,290,132	9,759,678
当期経常増減額	△ 55,775,376	△ 45,431,930	△ 10,343,446
2.経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 55,775,376	△ 45,431,930	△ 10,343,446
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 55,846,376	△ 45,502,930	△ 10,343,446
一般正味財産期首残高	143,455,803	188,958,733	△ 45,502,930
一般正味財産期末残高	87,609,427	143,455,803	△ 55,846,376
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	287,609,427	343,455,803	△ 55,846,376

4 正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	自主事業	受託事業	小計			
I 一般正味財産増減の部						
1.経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用収益	1,378,997	0	1,378,997	0	0	1,378,997
基本財産受取利息	1,378,997	0	1,378,997	0	0	1,378,997
特定資産運用収益	0	307,100	307,100	0	0	307,100
特定資産受取利息	0	307,100	307,100	0	0	307,100
受取補助金等	0	802,500,101	802,500,101	0	31,538,599	834,038,700
管理受託収益	0	801,180,101	801,180,101	0	31,538,599	832,718,700
受取民間助成金	0	1,320,000	1,320,000	0	0	1,320,000
事業収益	0	0	0	298,027,857	0	298,027,857
館内販売事業収益	0	0	0	286,766,479	0	286,766,479
自動販売機収入等	0	0	0	11,261,378	0	11,261,378
雑収益	76,560	5,987,932	6,064,492	457,288	0	6,521,780
雑収益	76,560	5,987,932	6,064,492	457,288	0	6,521,780
経常収益計	1,455,557	808,795,133	810,250,690	298,485,145	31,538,599	1,140,274,434
(2) 経常費用						
事業費	2,660,898	894,379,068	897,039,966	258,386,750	0	1,155,426,716
役員報酬	0	3,344,172	3,344,172	551,616	0	3,895,788
報酬	0	48,414,815	48,414,815	29,256,999	0	77,671,814
給料	0	106,689,957	106,689,957	7,488,900	0	114,178,857
職員手当	0	79,183,253	79,183,253	5,416,028	0	84,599,281
臨時職員賃金	0	57,106,862	57,106,862	5,071,634	0	62,178,496
退職給付費用	0	12,000,000	12,000,000	202,420	0	12,202,420
福利厚生費	0	46,826,515	46,826,515	7,379,500	0	54,206,015
会議費	288,014	102,840	390,854	0	0	390,854
旅費交通費	21,600	4,484,478	4,506,078	417,339	0	4,923,417
通信運搬費	91,687	4,887,397	4,979,084	63,396	0	5,042,480
リース資産減価償却費	0	0	0	269,056	0	269,056
減価償却費	0	0	0	1,120,977	0	1,120,977
消耗什器備品費	0	4,903,306	4,903,306	84,678	0	4,987,984
消耗品費	44,991	24,969,293	25,014,284	2,260,376	0	27,274,660
水族購入費	0	3,568,824	3,568,824	0	0	3,568,824
飼料購入費	0	21,501,762	21,501,762	0	0	21,501,762
修繕費	0	31,071,195	31,071,195	110,000	0	31,181,195
印刷製本費	730,180	2,632,436	3,362,616	100,980	0	3,463,596
燃料費	0	43,952,480	43,952,480	0	0	43,952,480
光熱水料費	0	138,336,891	138,336,891	642,822	0	138,979,713
賃借料	1,419,236	9,008,792	10,428,028	2,092,247	0	12,520,275
保険料	22,460	1,338,749	1,361,209	403,870	0	1,765,079
諸謝金	30,000	317,000	347,000	0	0	347,000
手数料	12,730	7,635,827	7,648,557	4,943,842	0	12,592,399
広報宣伝費	0	18,742,309	18,742,309	0	0	18,742,309
租税公課	0	28,982,900	28,982,900	8,586,600	0	37,569,500
負担金	0	214,500	214,500	0	0	214,500
寄付金	0	560,000	560,000	0	0	560,000
委託費	0	193,582,287	193,582,287	1,237,070	0	194,819,357
館内販売仕入費	0	0	0	180,674,969	0	180,674,969
雑費	0	20,228	20,228	11,431	0	31,659

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	自主事業	受託事業	小計			
管理費	0	0	0	0	40,623,094	40,623,094
役員報酬	0	0	0	0	521,332	521,332
報酬	0	0	0	0	221,340	221,340
給料	0	0	0	0	14,120,300	14,120,300
職員手当	0	0	0	0	9,169,255	9,169,255
臨時職員賃金	0	0	0	0	5,094,158	5,094,158
退職給付費用	0	0	0	0	2,000,000	2,000,000
福利厚生費	0	0	0	0	4,893,618	4,893,618
会議費	0	0	0	0	328,523	328,523
旅費交通費	0	0	0	0	241,950	241,950
通信運搬費	0	0	0	0	681,854	681,854
消耗品費	0	0	0	0	639,165	639,165
印刷製本費	0	0	0	0	919,484	919,484
賃借料	0	0	0	0	709,429	709,429
保険料	0	0	0	0	46,730	46,730
手数料	0	0	0	0	223,581	223,581
負担金	0	0	0	0	812,375	812,375
経常費用計	2,660,898	894,379,068	897,039,966	258,386,750	40,623,094	1,196,049,810
当期経常増減額	△ 1,205,341	△ 85,583,935	△ 86,789,276	40,098,395	△ 9,084,495	△ 55,775,376
2.経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	1,205,341	80,858,935	82,064,276	△ 91,148,771	9,084,495	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	△ 4,725,000	△ 4,725,000	△ 51,050,376	0	△ 55,775,376
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	71,000	0	71,000
当期一般正味財産増減額	0	△ 4,725,000	△ 4,725,000	△ 51,121,376	0	△ 55,846,376
一般正味財産期首残高	12,501,444	12,591,706	25,093,150	118,362,653	0	143,455,803
一般正味財産期末残高	12,501,444	7,866,706	20,368,150	67,241,277	0	87,609,427
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	0	200,000,000	0	0	200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	200,000,000	0	0	200,000,000
III 正味財産期末残高	212,501,444	7,866,706	220,368,150	67,241,277	0	287,609,427

5 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券…償却原価法によっている。
- (2)棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品及び貯蔵品は、移動平均法によっている。
- (3)固定資産の減価償却の方法
定額法による減価償却を実施している。
- (4)退職給付引当金の計上基準
期末退職給与の要支給額を限度として計上している。
- (5)消費税の会計処理
消費税の会計処理は税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	82,395,900	0	143,038	82,252,862
投資有価証券	117,604,100	143,038	0	117,747,138
小 計	200,000,000	143,038	143,038	200,000,000
特定資産				
退職給付引当普通預金	231,020,438	14,202,420	47,635,435	197,587,423
退職給付引当有価証券	20,000,000	10,000,000	0	30,000,000
減価償却引当普通預金	15,247,534	1,120,977	0	16,368,511
特定費用準備普通預金	4,725,000	0	4,725,000	0
小 計	270,992,972	25,323,397	52,360,435	243,955,934
合 計	470,992,972	25,466,435	52,503,473	443,955,934

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	82,252,862	82,252,862	0	0
投資有価証券	117,747,138	117,747,138	0	0
小 計	200,000,000	200,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当普通預金	197,587,423	0	0	197,587,423
退職給付引当有価証券	30,000,000	0	0	30,000,000
減価償却引当普通預金	16,368,511	0	16,368,511	0
小 計	243,955,934	0	16,368,511	227,587,423
合 計	443,955,934	200,000,000	16,368,511	227,587,423

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,598,670	0	1,598,669	1
什器備品	16,221,010	1,060,593	14,709,458	1,511,552
ソフトウェア	1,811,535	60,384	60,384	1,751,151
合 計	19,631,215	1,120,977	16,368,511	3,262,704

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
国 債			
第179回20年国債	97,747,138	68,950,000	△ 28,797,138
第34回30年国債	49,789,085	45,632,650	△ 4,156,435
債 券			
第2回グリーン共同発行地方債	20,000,000	17,968,000	△ 2,032,000
第28回みずほフィナンシャルG劣後債	10,000,000	9,185,000	△ 815,000
第29回みずほフィナンシャルG期限前劣後債	10,000,000	9,781,000	△ 219,000
大和証券グループ本社第47回無担保社債	10,000,000	9,880,000	△ 120,000
合 計	197,536,223	161,396,650	△ 36,139,573

6 附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、5 財務諸表に対する注記「2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略します。

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	251,020,438	14,202,420	37,635,435	0	227,587,423

7 財 産 目 録

令和8年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金等として	14,142,714		
	普通預金	南日本銀行本店	運転資金等として	180,495,945		
	未収金	信販等5社	クレジット・代引売掛商品代金等	8,951,893		
		コカ・コーラボトランス 他5社	販売手数料等	2,195,102		
		携帯電話等4社	館内設置通信機器電気代等	477,168		
	商品	売店	文房具、書籍など	1,585,762		
	貯蔵品	売店	包装用品	1,800,504		
	前払費用	東京海上日動火災保険	損害賠償保険料	29,036		
流動資産合計				209,678,124		
(固定資産)	基本財産		公益目的保有財産			
		普通預金	南日本銀行本店		32,463,777	
		投資有価証券	大和証券	第179回20年国債	97,747,138	
			野村證券	第34回30年国債	49,789,085	
			大和証券	第2回グリーン共同発行地方債	20,000,000	
	特定資産		退職給付引当資産		公社員31名に対する退職金の支払いに備えたもの	
		普通預金 投資有価証券	南日本銀行本店		197,587,423	
			みずほ証券	第28回みずほF G劣後債	10,000,000	
				第29回みずほF G期限前劣後債	10,000,000	
			大和証券	大和証券グループ本社第47回無担保社債	10,000,000	
		減価償却引当資産		什器備品及び車両運搬具の償却引当資産		
		普通預金	南日本銀行本店		16,368,511	
	その他 固定資産	車両運搬具	小型貨物車 1 台	公益目的保有財産	1	
		什器備品		水族収集等の用に供している		
				収益事業の用に供している	1,178,632	
			P C	同上	258,500	
			紙幣計数機	同上	74,415	
			バーコードプリンタ	同上	1	
			大型金庫 1 台	同上	1	
			P O S システム	同上	1	
			I P トランシーバ	同上	1	
			両替機	同上	1	
			リース資産	自動釣銭機	収益事業の用に供している	4,573,969
			ソフトウェア	売上管理ソフト	収益事業の用に供している	1,751,151
			預託金	1台分	自動車リサイクル料金	9,550
				1口	西日本自動車共済協同組合加入金	1,000
固定資産合計				451,803,157		
資産合計				661,481,281		

(単位：円)

貸借対照表科目		債務の相手等	債務の内容等	金額
(流動負債)	未払金	エムピージー他27社	ショップ商品仕入代金	15,505,015
		芙蓉商事	設備運転管理・清掃業務等	6,743,000
		南国殖産	熱源・空調設備保守点検業務等	4,950,000
		鶴田機工	熱源電動バタフライバルブ等更新	3,767,500
		ヨコハマ工販	飼育ポンプ修繕業務	2,475,000
		渕上印刷	各種印刷物等	1,940,510
		ベストセキュリティ	常駐・臨時警備業務	1,861,750
		神畑養魚	餌料	1,515,476
		濱島印刷	GWイベントチラシ	1,221,000
		三菱電機ビルソリューションズ	昇降機・ブラインチラー保守点検業務等	1,122,000
		九州電力	電気料金2-3月分	13,595,621
		南国殖産	発電機燃料代3月分	3,623,400
		日本瓦斯	ガス料金3月分	2,257,841
		鹿児島市水道局	上下水道料金2-3月分	2,158,380
		他76社	各種商品・サービス、委託・修繕等	11,970,488
		当公社従業員	報酬・手当退職金等	47,018,481
		厚生労働省年金局	社会保険料2-3月分	3,450,124
		各税務機関	決算時諸税	9,441,000
		預り金	社会保険料	
	所得税・住民税			1,957,229
流動負債合計				141,643,198
(固定負債)	退職給付 引当金 リース債務	職員分	公社員31名に対する退職金の支払い に備えたもの	227,587,423
		三菱HCBビジネスリース	自動釣銭機リース料	4,641,233
固定負債合計				232,228,656
負債合計				373,871,854
正味財産				287,609,427

監 査 報 告 書

令和8年6月2日

公益財団法人鹿児島市水族館公社

理事長 下鶴 隆央 殿

公益財団法人鹿児島市水族館公社

監 事 高橋 雷太



監 事 牧田 和博



私たち監事は、公益財団法人鹿児島市水族館公社の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第14期事業年度における会計及び業務の監査を行い、その方法の概要及び結果について次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等から業務の報告を聴取し、必要に応じて説明を求めるとともに、重要な関係書類の閲覧を実施し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討した。
- (2) 会計帳簿又はこれに関連する資料の閲覧、調査を実施し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討した。

2 監査の結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以 上